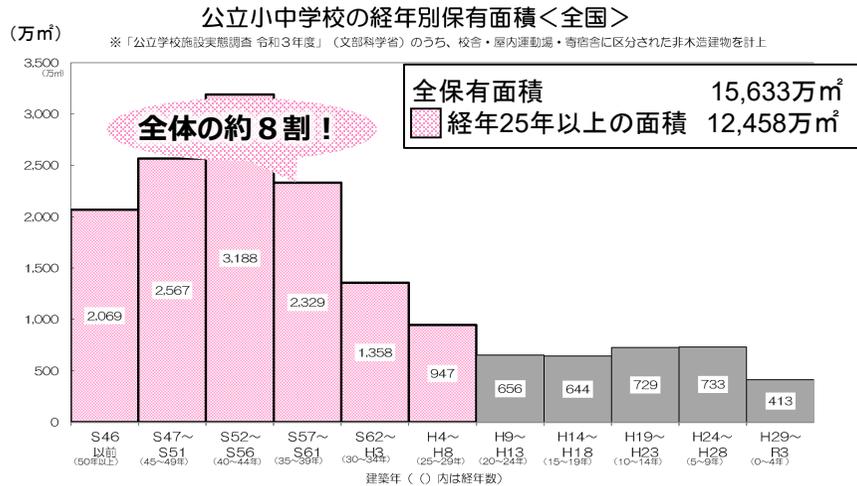


新しい時代の学びを実現する学校施設の計画的・効率的な整備

- 学校施設の老朽化がピークを迎え、安全面・機能面の問題が多発するなど、早急な老朽化対策が必要。
- 1人1台端末のもと、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実現できる教育環境の確保が必要。

<「改築」から「長寿命化改修」へのシフト>

安全・安心を確保する学校施設の老朽化対策



老朽化により落下した手すり

新しい時代の学びを実現する教育環境の向上



ICT活用により学校施設全体を学びの場として利用



地域の避難所として
防災機能を強化



再生可能エネルギーの導入による
脱炭素化/環境教育への活用

- 地域の将来像を見据え、長寿命化改修とあわせて学校施設の複合化・共用化を促進し、コストの最適化を実現。

小中高生等へのアントレプレナーシップ教育の拡大方策 イメージ

全国各地で小中高生等に対するアントレプレナーシップ教育の機会を拡大すべく、産業界・自治体等とも連携しながら、取組を推進。

- ★ スタートアップ・エコシステム拠点都市
大学発新産業創出プログラム (START)
大学・エコシステム推進型【スタートアップ・エコシステム形成支援】
- 全国8拠点都市※にある産学官コンソーシアムを最大限活用し、**起業家等による域内の小中高生を対象にしたアントレプレナーシップ教育のセミナー・出前講座**を実施。
(※拠点都市がある都道府県には、全国約1300万人の小中高生のうち、約760万人の小中高生が所在)

拠点都市を中心とした面的展開

- ★ グローバルサイエンスキャンパス
ジュニアドクター育成塾 実施機関
- 全国に点在する当該プログラム採択大学等において、理数分野で特に高い能力を有する小中高生に対して、**アントレプレナーシップ教育も含めた高度な教育プログラム**を提供し、未来を牽引する人材を育成。
(現在、実施機関は31都道府県に点在。受講者は年間約2,500人程度。)

- ☆ SSH指定校
- 拠点都市とも連携しつつ、希望する高校において、**高度な教育プログラム**を提供。
(現在、指定校は47都道府県に点在。全国約5000校のうち、約200校が指定を受ける。)

各地での先端的な取組の展開

デジタル田園都市構想とも連携し、全国各地へ展開



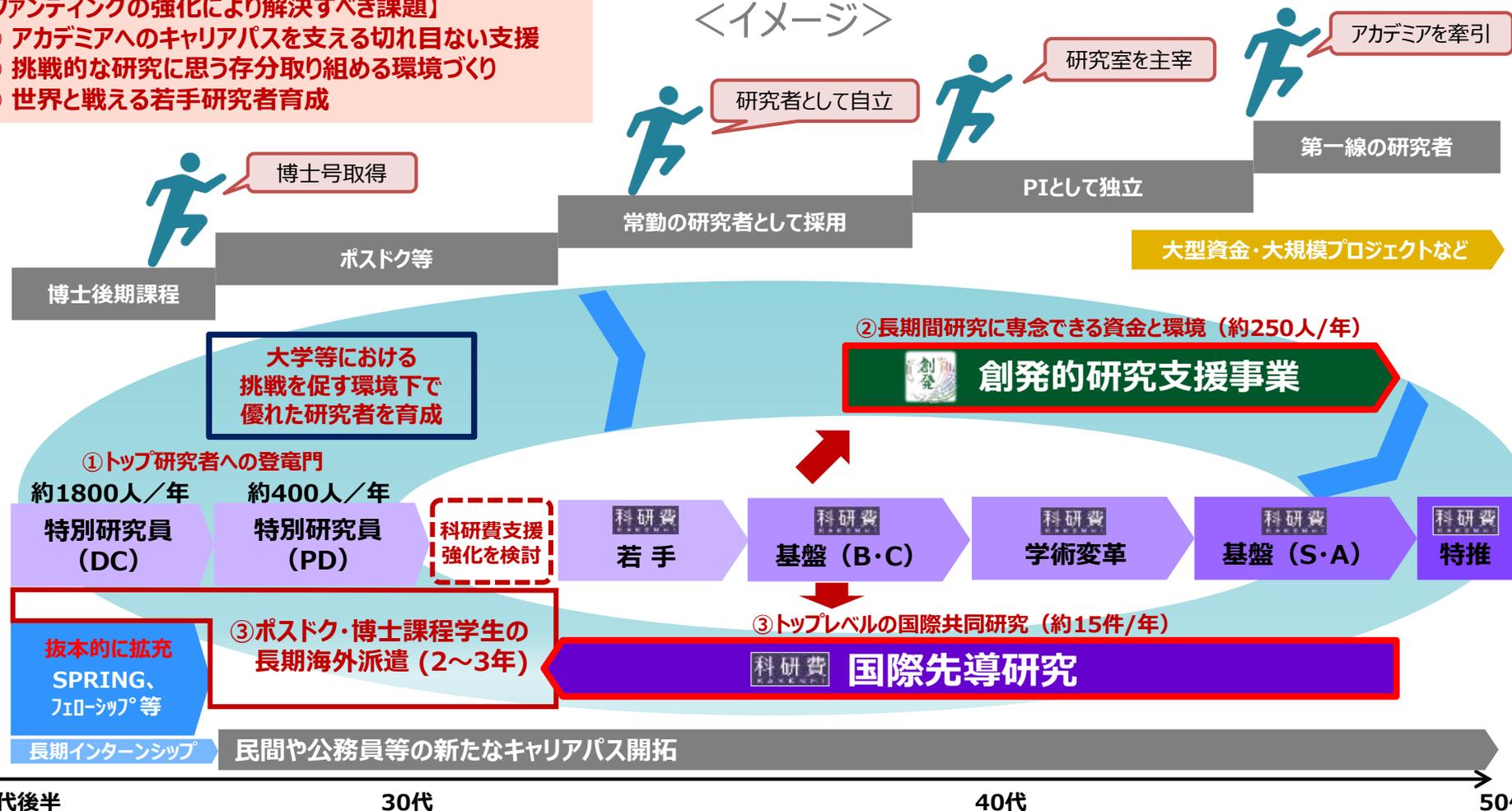
未来のアカデミアを牽引する若手研究者の飛躍を支援

- 博士課程学生に対する支援は、令和2年度第3次補正予算以降、抜本的な拡充が図られている（将来的に大学ファンド運用益により支援継続）。今後、**全国から輩出されてくる優秀な若手研究者のその先のキャリアパスの確保・拡大が重要。**
- （民間や公務員等のキャリアパス開拓と並行して）**アカデミアのキャリアパスの太さと魅力を明確に示し、アカデミアを牽引する研究者を継続的に育成していくため、若手研究者が腰を据えて自由で挑戦的な研究に進進できる安定的な研究資金と、研究に専念できる環境の確保を一体的に行うファンディングの強化は重要な課題。**

【ファンディングの強化により解決すべき課題】

- ① アカデミアへのキャリアパスを支える切れ目ない支援
- ② 挑戦的な研究に思う存分取り組める環境づくり
- ③ 世界と戦える若手研究者育成

<イメージ>



地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ

- パッケージ作成を機に、地域の中核となる大学や特色ある研究大学には、「事業を立てた、あとは大学、手を挙げて」（大学に委ねる）スタイルから、大学と対話しながら、特色や強みを伸ばす取り組みを局課を超えて **きめ細かく伴走支援する政策実施スタイルに転換**
- **大学のミッションに基づく戦略的経営を実現、大学が自ら変わる**ことを促し、研究力の強化や地域の課題解決などに貢献するよう、**最新のデジタル技術も活用しながら、大学の戦略的経営を後押し**

現状・課題

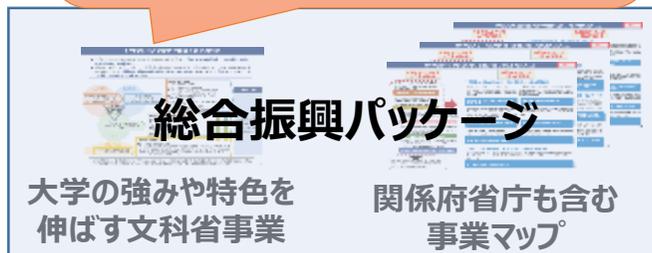
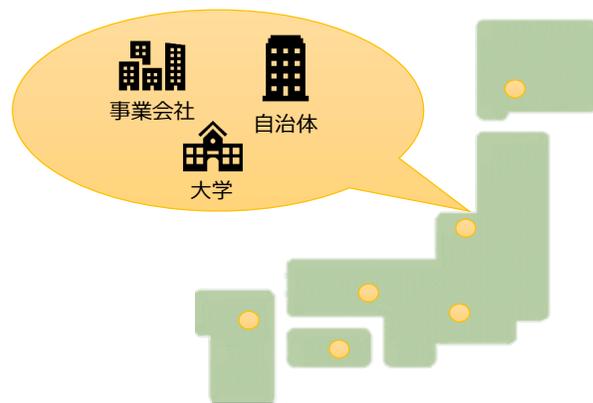
- 複数の省庁が地域の大学・企業・自治体などを対象とした施策を展開しているが大学目線で整理されていない
- 地域の中核大学や特定の強みを持つ大学が、複数存在するが、大都市圏や海外の大学に比べると限定的

【代表的な支援メニュー】

- 高度な研究拠点を作りたい。
⇒ **世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)**
- 産学官連携で研究開発・社会実装に取り組みたい。
⇒ **共創の場形成支援**
- 地域を牽引する人材を育成したい。
⇒ **地域活性化人材育成事業 (SPARC)**

将来

- 大学や地方自治体、産業界を繋ぐ仕組みを強化。各府省とも連携して伴走支援
- 地域の中核大学や特定の強みを持つ大学が、強みや特色を伸ばす戦略的経営を展開し、日本各地で活躍



文科省内での連携体制を構築

伴走支援

地域の中核大学や特定の強みを持つ大学が、“特色ある強み”を十分に発揮し、日本各地で社会変革を牽引する取組を実施

国立大学等における地域と産業界との共創拠点の整備充実

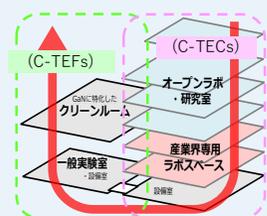
国民に支えられる国立大学等のキャンパスは「国家的な資産」であり地域の貴重な「公共財」。学生や教職員だけではなく地域や産業界などの社会の様々なステークホルダーと共に最大限活用して、教育研究活動等のソフト面とハード面の一体となった新たな価値等を生み出す「共創拠点」を目指す。



各大学の特色・強みを発揮させ、社会変革を牽引する取組の強化につなげる

最先端のイノベーション創出

- 異分野の研究者の交流等、双方向コミュニケーションを意識した共創的空間を整備
- 世界をリードするイノベーション創出を推進



最先端研究と産学官連携を繋ぐ一気通貫の場

実証実験の場

- 地元自治体や企業と Society5.0 やスマートシティの実現に関する包括連携協定を締結
- キャンパスを活用し自治体・企業等と実証実験を推進



キャンパス内道路を活用した自動運転の実証実験を実施

世界と地域を結ぶ結節点

- 世界と大学、市民を結ぶキャンパスを目指し、地域の国際化に貢献
- 市立図書館を大学と共同利用し、資産を有効活用



大学キャンパスと市の施設、駅前広場等を一体的に整備

地域産業振興

- “街と一体となったキャンパスをつくる”構想の下、分野横断的な教育研究を展開
- 地元企業等と共同研究を行う環境を整備し、地域産業振興・活性化



隣接した別グループのものづくりや共同研究を可視化 (コモンスタジオ)

地域・社会貢献

- 「アジアのゲートウェイ」「都市共創」「地域・社会連携」がコンセプト
- 学生の交流や地域に開かれたキャンパスで地域住民との交流が活発



学生同士、地域との交流が誘発されるスペース (R-AGORA)

教育・人材育成

- 次世代地域社会を牽引する人材育成のため「地学一体」による教育を展開
- 関係者が集うプラットフォームを設立し、地域課題を議論



地域社会との繋がり役割を担う施設を整備